

西条市国土強靱化地域計画（案） 意見の概要と市の考え方

No.	意見の概要	意見に対する市の考え方																																																																																																																				
1	<p>難解な語句について下記の表の様に説明を加えて下さい。</p> <table border="1" data-bbox="315 400 1043 978"> <thead> <tr> <th>掲載ページ</th> <th>難解語句</th> <th>注記案 〇 内</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2</td> <td>アンブレラ計画</td> <td>当該都道府県等の区域における国土強靱化に係る計画等の指針</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>カウンターパート</td> <td>対等の立場にある相手</td> </tr> <tr> <td>17</td> <td>サプライチェーン</td> <td>ある製品が原料の段階から消費者に至までの全過程のつながり</td> </tr> <tr> <td>18</td> <td>クラウドサービス</td> <td>利用者が手元のコンピュータで利用していたデータやソフトウェアをネットワーク経由で利用するために提供されるサービス</td> </tr> <tr> <td>21</td> <td>プラットフォーム</td> <td>官公庁の施策における環境、基盤</td> </tr> <tr> <td>22</td> <td>アーカイブ</td> <td>記録を保存・活用し、未来に伝達すること</td> </tr> <tr> <td>22</td> <td>ホイスト</td> <td>荷の巻き上げ・下げを行う機械</td> </tr> <tr> <td>23</td> <td>DMA T</td> <td>災害派遣医療チーム</td> </tr> <tr> <td>23</td> <td>D P A T</td> <td>災害派遣精神医療チーム</td> </tr> <tr> <td>24</td> <td>バイオマス</td> <td>動植物から生まれた再利用可能な有機性の資源（石油などの化石燃料を除く）</td> </tr> <tr> <td>24</td> <td>S S 過疎地</td> <td>ガソリンスタンド（サービスステーション:SS）の数が少ない、または全く無い場所</td> </tr> <tr> <td>26</td> <td>ブローブ情報</td> <td>走行している自動車のセンサーから得られる走行軌跡情報</td> </tr> <tr> <td>29</td> <td>グリーンインフラ</td> <td>自然環境が有する多様な機能を積極的に活用して、地域の魅力・居住環境の向上や防災・減災等の多様な効果を得ようとするもの</td> </tr> <tr> <td>29</td> <td>シェイクアウト訓練</td> <td>2008年にアメリカ合衆国の南カリフォルニア州で生まれた、地震の一斉防災訓練</td> </tr> <tr> <td>43</td> <td>プラットフォーム</td> <td>基盤や土台、環境</td> </tr> <tr> <td>63</td> <td>クラウド化</td> <td>企業の情報システムなどで、自社内にコンピュータを設置して運用してきたシステムを、インターネットやVPNを通じて外部の事業者のクラウドサービスを利用する形に置き換えること</td> </tr> <tr> <td>63</td> <td>スマートシティ</td> <td>諸課題に対してICT等の新技術を活用しつつ、計画・整備・管理・運営等）が行われ、全体最適化が図られる持続可能な都市または地区</td> </tr> <tr> <td>72</td> <td>ストックマネジメント</td> <td>機能診断、劣化予測を経て、適切な対策工法のシナリオを策定し、ライフサイクルコストの低減効果が高い保全対策方法の計画を策定する一連の技術体系</td> </tr> <tr> <td>111</td> <td>インフラメンテナンス</td> <td>インフラを持続的に機能させるための整備</td> </tr> </tbody> </table>	掲載ページ	難解語句	注記案 〇 内	2	アンブレラ計画	当該都道府県等の区域における国土強靱化に係る計画等の指針	9	カウンターパート	対等の立場にある相手	17	サプライチェーン	ある製品が原料の段階から消費者に至までの全過程のつながり	18	クラウドサービス	利用者が手元のコンピュータで利用していたデータやソフトウェアをネットワーク経由で利用するために提供されるサービス	21	プラットフォーム	官公庁の施策における環境、基盤	22	アーカイブ	記録を保存・活用し、未来に伝達すること	22	ホイスト	荷の巻き上げ・下げを行う機械	23	DMA T	災害派遣医療チーム	23	D P A T	災害派遣精神医療チーム	24	バイオマス	動植物から生まれた再利用可能な有機性の資源（石油などの化石燃料を除く）	24	S S 過疎地	ガソリンスタンド（サービスステーション:SS）の数が少ない、または全く無い場所	26	ブローブ情報	走行している自動車のセンサーから得られる走行軌跡情報	29	グリーンインフラ	自然環境が有する多様な機能を積極的に活用して、地域の魅力・居住環境の向上や防災・減災等の多様な効果を得ようとするもの	29	シェイクアウト訓練	2008年にアメリカ合衆国の南カリフォルニア州で生まれた、地震の一斉防災訓練	43	プラットフォーム	基盤や土台、環境	63	クラウド化	企業の情報システムなどで、自社内にコンピュータを設置して運用してきたシステムを、インターネットやVPNを通じて外部の事業者のクラウドサービスを利用する形に置き換えること	63	スマートシティ	諸課題に対してICT等の新技術を活用しつつ、計画・整備・管理・運営等）が行われ、全体最適化が図られる持続可能な都市または地区	72	ストックマネジメント	機能診断、劣化予測を経て、適切な対策工法のシナリオを策定し、ライフサイクルコストの低減効果が高い保全対策方法の計画を策定する一連の技術体系	111	インフラメンテナンス	インフラを持続的に機能させるための整備	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>ご意見いただきました語句に加え、愛媛県地域強靱化計画や他市町の国土強靱化地域計画を参考に用語解説の節を設けさせていただきます。お示しいただきました様式や文言と本市修正内容との相違につきましては、ご理解賜りますようお願いいたします。</p> <table border="1" data-bbox="1126 576 1946 1332"> <tbody> <tr> <td>アンブレラ計画</td> <td>傘(アンブレラ)のように、既存の関連計画を包含し、これら計画の指針となる計画のこと。</td> </tr> <tr> <td>インフラメンテナンス</td> <td>社会資本(道路・港湾・上下水道・公園・公営住宅・病院・学校など、産業や生活の基盤となる公共施設)の維持管理・老朽化対策のこと。</td> </tr> <tr> <td>カウンターパート</td> <td>災害復旧復興時に物的・人的支援元となる自治体のこと。「対口(たいこう)支援」ともいう。</td> </tr> <tr> <td>グリーンインフラ</td> <td>社会資本整備や土地利用等のハード・ソフト両面において、自然環境が有する多様な機能(生物の息遣い・生育の場の提供、良好な景観形成、気温上昇の抑制等)を活用し、持続可能で魅力ある国土づくりや地域づくりを進める取組のこと。</td> </tr> <tr> <td>サプライチェーン</td> <td>原材料の供給、部品の供給、輸送、生産、販売など製品の全体的な流れに携わる複数の企業間の連携を、鎖としてつながっている一つの連続したシステムとして捉えた名称で、本計画では、災害時に必要となる物資の流れをいう。</td> </tr> <tr> <td>RPA</td> <td>RPA(Robotic Process Automation)は、ロボットによる業務自動化の取組みを表す言葉で「デジタルレイバー(Digital Labor)」や「仮想的労働者」とも呼ばれる。業務を、パソコンやサーバーにあるソフトウェア型のロボットで代行・業務自動化することをいう。</td> </tr> <tr> <td>クラウド化</td> <td>本計画においては自治体クラウドを指し、住民基本台帳・税務・福祉等の自治体の情報システムやデータを、外部のデータセンターにおいて管理・運用するクラウドサービスを用いて複数の自治体で共同利用する取組のこと。</td> </tr> <tr> <td>プラットフォーム</td> <td>本計画においては、官公庁の施策における環境又は基盤をいう。</td> </tr> <tr> <td>アーカイブ</td> <td>重要記録を未来に伝達するために、保存・活用すること。</td> </tr> <tr> <td>ホイスト</td> <td>ヘリコプターから救助隊員(特殊救難隊員や機動救難士)を降下させ、遭難している人々を確保し、ヘリコプターへ吊上げる救助のこと。</td> </tr> <tr> <td>DMA T(災害派遣医療チーム)</td> <td>災害派遣医療チーム(DMAT)は、「Disaster Medical Assistance Team」の略で、医師、看護師、業務調整員で構成される機動性を持った専門的な訓練を受けた医療チームをいう。</td> </tr> <tr> <td>DPAT(災害派遣精神医療チーム)</td> <td>災害派遣精神医療チーム(DPAT)は、自然災害や航空機・列車事故、犯罪事件などの集団災害の後、被災地域に入り、精神科医療および精神保健活動の支援を行う専門的なチームのこと。</td> </tr> <tr> <td>EMIS(広域災害救命医療情報システム)</td> <td>災害時に、都道府県を超えて医療機関の稼働状況などの災害医療情報をインターネット上で共有し、被災地域における適切な医療・救護に関わる情報を集約・提供するシステムのこと。</td> </tr> <tr> <td>DMHSS(災害精神保健医療情報支援システム)</td> <td>災害時に、災害派遣精神医療チーム(DPAT)の派遣要請や派遣先担当機能、活動記録等を担うインターネット上で行うシステムのこと。</td> </tr> <tr> <td>業務(事業)継続計画(BCP)</td> <td>災害や事故など不測の事態を想定して、事業資産の損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とするため、平常時に行為すべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段などを戦略的に準備しておく計画のこと。</td> </tr> <tr> <td>SS過疎地</td> <td>店舗にSS(ガソリンスタンド)が少ない又は無い地域で、自家用車や農業機械への給油や移動手段を持たない高齢者への灯油配達等に支障を来す恐れがある地域のこと。</td> </tr> <tr> <td>Lアラート(災害情報共有システム)</td> <td>地方自治体が発信する避難勧告や避難所の開設状況等の災害情報を集約し、テレビ、ラジオ、インターネット等の多様なメディアを通じて地域住民に一括配信するシステムのこと。</td> </tr> <tr> <td>Jアラート(全国瞬時警報システム)</td> <td>大規模災害や武力攻撃事象が発生した際に、国民の保護のために必要な情報を、通信衛星を利用して、瞬時に地方公共団体等に伝達するとともに、地域衛星通信ネットワークに接続された防災行政無線や有線放送電話を自動起動させ、サイレンや放送によって住民に緊急情報を伝達するシステムのこと。</td> </tr> <tr> <td>道路啓閉</td> <td>災害時に、人命救助や緊急物資の輸送等を行うための緊急車両等が通行できるよう、早急に最低限の瓦礫処理や簡易な段差修正等を行うことにより、救援ルートを開けること。</td> </tr> <tr> <td>ブローブ情報</td> <td>個々の自動車が実際に走行した位置や走行速度をもとにした道路交通情報のこと。</td> </tr> <tr> <td>内水(ないすい)</td> <td>河川について、堤防を境界として、人が居住する外圃(河川側)を堤外地、居住する圃を堤内地と呼んでおり、河川の水を外水、外水の氾濫によって水害が生じた場合を外水氾濫と呼び、河川に関わぬ内排水が追いつかないために水が敷地内にあふれた水を内水、内水の氾濫によって水害が生じた場合を内水氾濫と呼ぶ。</td> </tr> <tr> <td>リスクコミュニケーション</td> <td>防災において、自治体、防災関係機関、防災専門家、民間事業者、自主防災組織、住民等の関係者が、大規模自然災害等のリスクに関する情報を共有し、相互に意思疎通を図ること。</td> </tr> <tr> <td>シェイクアウト</td> <td>2008年10月に米カリフォルニア州で始まった地震防災訓練、Jアラートやシェイクアウトさひめの訓練放送に併せ、参加者が机の下にもぐって身を守る訓練のこと。</td> </tr> <tr> <td>ストックマネジメント</td> <td>施設全体の中長期的な状態の予測をもとに既存施設の有効活用や長寿命化を図る持続的・実行的な技術体系及び管理手法のこと。</td> </tr> <tr> <td>陸間(りゅうこう)</td> <td>河川や海岸線における堤防・防潮堤等において、通常時は生活のため通行出来るよう、途切れさせている施設のこと。増水や津波・高潮時には、ゲート等により塞ぎ、暫定防波堤の役割を果たす。</td> </tr> <tr> <td>スマートシティ</td> <td>ICT(情報通信技術)を活用し、地域の誰かがつながり、安全・安心に、豊かで快適な生活を送ることのできるまちづくりのこと。</td> </tr> <tr> <td>バイオマス</td> <td>生物資源(bio)の量(mass)を表す概念で、動植物由来する有機物である資源(化石資源を除く)のこと。太陽のエネルギーを使って生物が生み出すものであり、生命と太陽エネルギーがある限り持続的に再生が可能である。</td> </tr> <tr> <td>緊急消防援助隊</td> <td>消防組織法に基づき、国中における大規模災害や特殊災害の発生に際し、被災地の都道府県内の消防隊では対処できない場合に、消防庁長官の要請又は指示により出動し、人命救助活動等を効果的かつ迅速に実施することを任務とする、全国の消防機関による相互応援組織のこと。</td> </tr> </tbody> </table>	アンブレラ計画	傘(アンブレラ)のように、既存の関連計画を包含し、これら計画の指針となる計画のこと。	インフラメンテナンス	社会資本(道路・港湾・上下水道・公園・公営住宅・病院・学校など、産業や生活の基盤となる公共施設)の維持管理・老朽化対策のこと。	カウンターパート	災害復旧復興時に物的・人的支援元となる自治体のこと。「対口(たいこう)支援」ともいう。	グリーンインフラ	社会資本整備や土地利用等のハード・ソフト両面において、自然環境が有する多様な機能(生物の息遣い・生育の場の提供、良好な景観形成、気温上昇の抑制等)を活用し、持続可能で魅力ある国土づくりや地域づくりを進める取組のこと。	サプライチェーン	原材料の供給、部品の供給、輸送、生産、販売など製品の全体的な流れに携わる複数の企業間の連携を、鎖としてつながっている一つの連続したシステムとして捉えた名称で、本計画では、災害時に必要となる物資の流れをいう。	RPA	RPA(Robotic Process Automation)は、ロボットによる業務自動化の取組みを表す言葉で「デジタルレイバー(Digital Labor)」や「仮想的労働者」とも呼ばれる。業務を、パソコンやサーバーにあるソフトウェア型のロボットで代行・業務自動化することをいう。	クラウド化	本計画においては自治体クラウドを指し、住民基本台帳・税務・福祉等の自治体の情報システムやデータを、外部のデータセンターにおいて管理・運用するクラウドサービスを用いて複数の自治体で共同利用する取組のこと。	プラットフォーム	本計画においては、官公庁の施策における環境又は基盤をいう。	アーカイブ	重要記録を未来に伝達するために、保存・活用すること。	ホイスト	ヘリコプターから救助隊員(特殊救難隊員や機動救難士)を降下させ、遭難している人々を確保し、ヘリコプターへ吊上げる救助のこと。	DMA T(災害派遣医療チーム)	災害派遣医療チーム(DMAT)は、「Disaster Medical Assistance Team」の略で、医師、看護師、業務調整員で構成される機動性を持った専門的な訓練を受けた医療チームをいう。	DPAT(災害派遣精神医療チーム)	災害派遣精神医療チーム(DPAT)は、自然災害や航空機・列車事故、犯罪事件などの集団災害の後、被災地域に入り、精神科医療および精神保健活動の支援を行う専門的なチームのこと。	EMIS(広域災害救命医療情報システム)	災害時に、都道府県を超えて医療機関の稼働状況などの災害医療情報をインターネット上で共有し、被災地域における適切な医療・救護に関わる情報を集約・提供するシステムのこと。	DMHSS(災害精神保健医療情報支援システム)	災害時に、災害派遣精神医療チーム(DPAT)の派遣要請や派遣先担当機能、活動記録等を担うインターネット上で行うシステムのこと。	業務(事業)継続計画(BCP)	災害や事故など不測の事態を想定して、事業資産の損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とするため、平常時に行為すべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段などを戦略的に準備しておく計画のこと。	SS過疎地	店舗にSS(ガソリンスタンド)が少ない又は無い地域で、自家用車や農業機械への給油や移動手段を持たない高齢者への灯油配達等に支障を来す恐れがある地域のこと。	Lアラート(災害情報共有システム)	地方自治体が発信する避難勧告や避難所の開設状況等の災害情報を集約し、テレビ、ラジオ、インターネット等の多様なメディアを通じて地域住民に一括配信するシステムのこと。	Jアラート(全国瞬時警報システム)	大規模災害や武力攻撃事象が発生した際に、国民の保護のために必要な情報を、通信衛星を利用して、瞬時に地方公共団体等に伝達するとともに、地域衛星通信ネットワークに接続された防災行政無線や有線放送電話を自動起動させ、サイレンや放送によって住民に緊急情報を伝達するシステムのこと。	道路啓閉	災害時に、人命救助や緊急物資の輸送等を行うための緊急車両等が通行できるよう、早急に最低限の瓦礫処理や簡易な段差修正等を行うことにより、救援ルートを開けること。	ブローブ情報	個々の自動車が実際に走行した位置や走行速度をもとにした道路交通情報のこと。	内水(ないすい)	河川について、堤防を境界として、人が居住する外圃(河川側)を堤外地、居住する圃を堤内地と呼んでおり、河川の水を外水、外水の氾濫によって水害が生じた場合を外水氾濫と呼び、河川に関わぬ内排水が追いつかないために水が敷地内にあふれた水を内水、内水の氾濫によって水害が生じた場合を内水氾濫と呼ぶ。	リスクコミュニケーション	防災において、自治体、防災関係機関、防災専門家、民間事業者、自主防災組織、住民等の関係者が、大規模自然災害等のリスクに関する情報を共有し、相互に意思疎通を図ること。	シェイクアウト	2008年10月に米カリフォルニア州で始まった地震防災訓練、Jアラートやシェイクアウトさひめの訓練放送に併せ、参加者が机の下にもぐって身を守る訓練のこと。	ストックマネジメント	施設全体の中長期的な状態の予測をもとに既存施設の有効活用や長寿命化を図る持続的・実行的な技術体系及び管理手法のこと。	陸間(りゅうこう)	河川や海岸線における堤防・防潮堤等において、通常時は生活のため通行出来るよう、途切れさせている施設のこと。増水や津波・高潮時には、ゲート等により塞ぎ、暫定防波堤の役割を果たす。	スマートシティ	ICT(情報通信技術)を活用し、地域の誰かがつながり、安全・安心に、豊かで快適な生活を送ることのできるまちづくりのこと。	バイオマス	生物資源(bio)の量(mass)を表す概念で、動植物由来する有機物である資源(化石資源を除く)のこと。太陽のエネルギーを使って生物が生み出すものであり、生命と太陽エネルギーがある限り持続的に再生が可能である。	緊急消防援助隊	消防組織法に基づき、国中における大規模災害や特殊災害の発生に際し、被災地の都道府県内の消防隊では対処できない場合に、消防庁長官の要請又は指示により出動し、人命救助活動等を効果的かつ迅速に実施することを任務とする、全国の消防機関による相互応援組織のこと。
掲載ページ	難解語句	注記案 〇 内																																																																																																																				
2	アンブレラ計画	当該都道府県等の区域における国土強靱化に係る計画等の指針																																																																																																																				
9	カウンターパート	対等の立場にある相手																																																																																																																				
17	サプライチェーン	ある製品が原料の段階から消費者に至までの全過程のつながり																																																																																																																				
18	クラウドサービス	利用者が手元のコンピュータで利用していたデータやソフトウェアをネットワーク経由で利用するために提供されるサービス																																																																																																																				
21	プラットフォーム	官公庁の施策における環境、基盤																																																																																																																				
22	アーカイブ	記録を保存・活用し、未来に伝達すること																																																																																																																				
22	ホイスト	荷の巻き上げ・下げを行う機械																																																																																																																				
23	DMA T	災害派遣医療チーム																																																																																																																				
23	D P A T	災害派遣精神医療チーム																																																																																																																				
24	バイオマス	動植物から生まれた再利用可能な有機性の資源（石油などの化石燃料を除く）																																																																																																																				
24	S S 過疎地	ガソリンスタンド（サービスステーション:SS）の数が少ない、または全く無い場所																																																																																																																				
26	ブローブ情報	走行している自動車のセンサーから得られる走行軌跡情報																																																																																																																				
29	グリーンインフラ	自然環境が有する多様な機能を積極的に活用して、地域の魅力・居住環境の向上や防災・減災等の多様な効果を得ようとするもの																																																																																																																				
29	シェイクアウト訓練	2008年にアメリカ合衆国の南カリフォルニア州で生まれた、地震の一斉防災訓練																																																																																																																				
43	プラットフォーム	基盤や土台、環境																																																																																																																				
63	クラウド化	企業の情報システムなどで、自社内にコンピュータを設置して運用してきたシステムを、インターネットやVPNを通じて外部の事業者のクラウドサービスを利用する形に置き換えること																																																																																																																				
63	スマートシティ	諸課題に対してICT等の新技術を活用しつつ、計画・整備・管理・運営等）が行われ、全体最適化が図られる持続可能な都市または地区																																																																																																																				
72	ストックマネジメント	機能診断、劣化予測を経て、適切な対策工法のシナリオを策定し、ライフサイクルコストの低減効果が高い保全対策方法の計画を策定する一連の技術体系																																																																																																																				
111	インフラメンテナンス	インフラを持続的に機能させるための整備																																																																																																																				
アンブレラ計画	傘(アンブレラ)のように、既存の関連計画を包含し、これら計画の指針となる計画のこと。																																																																																																																					
インフラメンテナンス	社会資本(道路・港湾・上下水道・公園・公営住宅・病院・学校など、産業や生活の基盤となる公共施設)の維持管理・老朽化対策のこと。																																																																																																																					
カウンターパート	災害復旧復興時に物的・人的支援元となる自治体のこと。「対口(たいこう)支援」ともいう。																																																																																																																					
グリーンインフラ	社会資本整備や土地利用等のハード・ソフト両面において、自然環境が有する多様な機能(生物の息遣い・生育の場の提供、良好な景観形成、気温上昇の抑制等)を活用し、持続可能で魅力ある国土づくりや地域づくりを進める取組のこと。																																																																																																																					
サプライチェーン	原材料の供給、部品の供給、輸送、生産、販売など製品の全体的な流れに携わる複数の企業間の連携を、鎖としてつながっている一つの連続したシステムとして捉えた名称で、本計画では、災害時に必要となる物資の流れをいう。																																																																																																																					
RPA	RPA(Robotic Process Automation)は、ロボットによる業務自動化の取組みを表す言葉で「デジタルレイバー(Digital Labor)」や「仮想的労働者」とも呼ばれる。業務を、パソコンやサーバーにあるソフトウェア型のロボットで代行・業務自動化することをいう。																																																																																																																					
クラウド化	本計画においては自治体クラウドを指し、住民基本台帳・税務・福祉等の自治体の情報システムやデータを、外部のデータセンターにおいて管理・運用するクラウドサービスを用いて複数の自治体で共同利用する取組のこと。																																																																																																																					
プラットフォーム	本計画においては、官公庁の施策における環境又は基盤をいう。																																																																																																																					
アーカイブ	重要記録を未来に伝達するために、保存・活用すること。																																																																																																																					
ホイスト	ヘリコプターから救助隊員(特殊救難隊員や機動救難士)を降下させ、遭難している人々を確保し、ヘリコプターへ吊上げる救助のこと。																																																																																																																					
DMA T(災害派遣医療チーム)	災害派遣医療チーム(DMAT)は、「Disaster Medical Assistance Team」の略で、医師、看護師、業務調整員で構成される機動性を持った専門的な訓練を受けた医療チームをいう。																																																																																																																					
DPAT(災害派遣精神医療チーム)	災害派遣精神医療チーム(DPAT)は、自然災害や航空機・列車事故、犯罪事件などの集団災害の後、被災地域に入り、精神科医療および精神保健活動の支援を行う専門的なチームのこと。																																																																																																																					
EMIS(広域災害救命医療情報システム)	災害時に、都道府県を超えて医療機関の稼働状況などの災害医療情報をインターネット上で共有し、被災地域における適切な医療・救護に関わる情報を集約・提供するシステムのこと。																																																																																																																					
DMHSS(災害精神保健医療情報支援システム)	災害時に、災害派遣精神医療チーム(DPAT)の派遣要請や派遣先担当機能、活動記録等を担うインターネット上で行うシステムのこと。																																																																																																																					
業務(事業)継続計画(BCP)	災害や事故など不測の事態を想定して、事業資産の損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とするため、平常時に行為すべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段などを戦略的に準備しておく計画のこと。																																																																																																																					
SS過疎地	店舗にSS(ガソリンスタンド)が少ない又は無い地域で、自家用車や農業機械への給油や移動手段を持たない高齢者への灯油配達等に支障を来す恐れがある地域のこと。																																																																																																																					
Lアラート(災害情報共有システム)	地方自治体が発信する避難勧告や避難所の開設状況等の災害情報を集約し、テレビ、ラジオ、インターネット等の多様なメディアを通じて地域住民に一括配信するシステムのこと。																																																																																																																					
Jアラート(全国瞬時警報システム)	大規模災害や武力攻撃事象が発生した際に、国民の保護のために必要な情報を、通信衛星を利用して、瞬時に地方公共団体等に伝達するとともに、地域衛星通信ネットワークに接続された防災行政無線や有線放送電話を自動起動させ、サイレンや放送によって住民に緊急情報を伝達するシステムのこと。																																																																																																																					
道路啓閉	災害時に、人命救助や緊急物資の輸送等を行うための緊急車両等が通行できるよう、早急に最低限の瓦礫処理や簡易な段差修正等を行うことにより、救援ルートを開けること。																																																																																																																					
ブローブ情報	個々の自動車が実際に走行した位置や走行速度をもとにした道路交通情報のこと。																																																																																																																					
内水(ないすい)	河川について、堤防を境界として、人が居住する外圃(河川側)を堤外地、居住する圃を堤内地と呼んでおり、河川の水を外水、外水の氾濫によって水害が生じた場合を外水氾濫と呼び、河川に関わぬ内排水が追いつかないために水が敷地内にあふれた水を内水、内水の氾濫によって水害が生じた場合を内水氾濫と呼ぶ。																																																																																																																					
リスクコミュニケーション	防災において、自治体、防災関係機関、防災専門家、民間事業者、自主防災組織、住民等の関係者が、大規模自然災害等のリスクに関する情報を共有し、相互に意思疎通を図ること。																																																																																																																					
シェイクアウト	2008年10月に米カリフォルニア州で始まった地震防災訓練、Jアラートやシェイクアウトさひめの訓練放送に併せ、参加者が机の下にもぐって身を守る訓練のこと。																																																																																																																					
ストックマネジメント	施設全体の中長期的な状態の予測をもとに既存施設の有効活用や長寿命化を図る持続的・実行的な技術体系及び管理手法のこと。																																																																																																																					
陸間(りゅうこう)	河川や海岸線における堤防・防潮堤等において、通常時は生活のため通行出来るよう、途切れさせている施設のこと。増水や津波・高潮時には、ゲート等により塞ぎ、暫定防波堤の役割を果たす。																																																																																																																					
スマートシティ	ICT(情報通信技術)を活用し、地域の誰かがつながり、安全・安心に、豊かで快適な生活を送ることのできるまちづくりのこと。																																																																																																																					
バイオマス	生物資源(bio)の量(mass)を表す概念で、動植物由来する有機物である資源(化石資源を除く)のこと。太陽のエネルギーを使って生物が生み出すものであり、生命と太陽エネルギーがある限り持続的に再生が可能である。																																																																																																																					
緊急消防援助隊	消防組織法に基づき、国中における大規模災害や特殊災害の発生に際し、被災地の都道府県内の消防隊では対処できない場合に、消防庁長官の要請又は指示により出動し、人命救助活動等を効果的かつ迅速に実施することを任務とする、全国の消防機関による相互応援組織のこと。																																																																																																																					

2	<p>気候変動（地球温暖化等）の影響を下げる取組み（例えば大気汚染物資排出削減等）を、「事前に備えるべき目標」に自然災害（リスク）を下げる文言を加えるべきと考えます。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>本計画の「事前に備えるべき目標」につきましては、国土強靱化基本計画並びに愛媛県地域強靱化計画との調和を図って設定しておりますことから、気候変動の影響を下げる取組みにつきましては、本計画の推進方針の1-3「台風や集中豪雨等大規模風水害による広域かつ長期的な市街地の浸水や大規模土砂災害の発生、また暴風雪や雪害等による多数の死傷者の発生」に気候変動問題に対応する方針を追加いたします。ご理解賜りますようお願いいたします。</p>
3	<p>「おきてはならない最悪の事態を回避するために必要な推進方針」については、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2-1 に緊急輸送道路の確保として、平常時から幹線市道橋梁の補強、舗装の維持補修が必要です。 ・ 4-1 に通信インフラの麻痺・機能停止の為に、アマチュア無線の利用も考えるべきです。 	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>2-1 に橋りょう、舗装の維持の文言を、4-1 に情報・通信事業者や団体との連携の文言を追加いたします。</p>
4	<p>計画だけでは災害時に対応できませんので、あらゆる災害パターンを想定した訓練を定期的実施すべきと考えます。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>災害に備え、関係機関との連携訓練や本市総合防災訓練を実施して参ります。</p>